

チャペル週報

No.23

2013.11.18～11.22

しかし、働いたのは、実はわたしではなく、
わたしと共にある神の恵みなのです。

(コリントの信徒への手紙一 15:10)



西宮上ヶ原キャンパス ランパス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 11月18日(月) 神 小 片 聡 (神学研究科M2)
経 舟 木 謙 (宗教主事)
人 人間について考える⑮ 大 宮 有 博 (名古屋学院大学准教授)
聖和 聖書物語「本当のともち」
-
- 11月19日(火) ランバスチャペルアワー ランバス記念礼拝堂
中村 美樹 (戦略コンサルティング、アジア太平洋ハートネットワーク事務局長、関西大学寄付講座講師)
院 ランバスチャペルアワーに合流
神 ランバスチャペルアワーに合流
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 動詞シリーズ「開く」④ 安 藤 文四郎 (社会学部教授)
法 秋季巡回チャペル バロックアンサンブル
経 アジア学院の働きを覚えて
商 東日本被災地支援報告 杉浦 健 (ヒューマンサービスセンター、ボランティアコーディネーター)
国 多文化共生のために 学生活動報告
聖和 宗教総部によるプログラム
総 橋 本 祐 樹 (日本基督教団神戸栄光教会牧師)
-
- 11月20日(水) 神 <キリスト教音楽に触れよう⑤> 水 野 隆 一 (神学部教授)
社 Chapel in English "To Open" ⑤ Alan Brady (社会学部教授)
法 東 よしみ (神学部准教授)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
国 収穫を感謝して 平 林 孝 裕 (宗教主事)
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
理 前 川 裕 (宗教主事)
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 11月21日(木) 神 ゴスペルクワイア (Power Of Voice) による音楽礼拝
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 秋の音楽チャペル④ バロックアンサンブル
法 フィリピン活動報告 上ケ原ハビタット
経 人間を考える④ 本 郷 亮 (経済学部教授)
商 English Chapel Timothy Boyle (宣教師)
国 English Chapel ASEAN Project in 2013
聖和 「子ども・絵本・平和 ～ハロー・ディア・エネミー!展～」 広渡 純子 (聖和短期大学学長)
総 音楽チャペル 聖歌隊
-
- 11月22日(金) 神 <レビ記連続メッセージ③> 中 島 純 (神学研究科M2)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 音楽チャペル バロックアンサンブル
人 上ケ原ハビタット
聖和 「聖書のお話みんなで聞こう」キリスト教教育Ⅱクラス
理 前 川 裕 (宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ケ原)
11月22日(金) 商学部のために 嶋 村 誠 (商学部准教授)

収穫感謝日

— 「思い出すこと」と「感謝すること」 —

打 樋 啓 史

アメリカでは、11月の第4木曜日が感謝祭(Thanksgiving Day)という祝日として定められ、この時季には街中が感謝祭ムードに包まれます。その起源は、17世紀初頭にイギリスから新大陸に移住した人々(Pilgrim Fathers)が新しい土地で耕作に苦勞するなか、先住民の協力を得て初の収穫を与えられ、神に感謝するために開いた祝宴にあるとされます。しかし実際のところ、その史実性については議論があり、特に先住民の視点から考えると、移民たちによって土地を奪われ、さらに迫害や虐殺につながったということで、感謝祭を祝う風潮に批判的な意見も存在します。一般的に今日のアメリカでは、感謝祭の歴史的・宗教的意味は弱まり、親族が集まって七面鳥などの御馳走を食べる日という家族行事としての面が強くなっているようです。

さて、日本ではプロテスタントの教会の行事暦として、感謝祭に近い11月第4日曜日が「収穫感謝日」とされ、キリスト教学校などでもそれに合わせて秋の実りを祝う行事が行われます。自然の豊かな恵みに目を注ぎ、私たちが自分の力で生きるのではなく、人間を超える大きな力に養われていることに改めて気づき、感謝する。それがこの季節のテーマです。しかし、ただ年中行事としてこの時にだけ感謝するのではなく、この季節を過ごすことで私たちが生きる根本姿勢としての「感謝の心」を取り戻すことが大切なのでしょう。

これに関連して、次のような英語の格言があります。“Thanksgiving is possible only for those who take time to remember; no one can give thanks who has a short memory.” 「思い出す時をもつ人だけが感謝でき、忘れっぽい人は感謝できない」とは、忘れっぽい私には耳が痛いですが、感謝は記憶や想起と深く関わるということです。この数日や数週間、あるいは数ヶ月や数年の、バタバタと過ごしてきた日々をゆっくり振り返り、思い出すとき、感謝の念が湧き出てくることがあります。痛く辛い過去がある一方で、「本当にありがたいことだった」としみじみ感じたり、胸が熱くなったりする過去に気づきます。そうして、私たちは感謝すべきことに感謝せずに過ごしてきた自分を省みるのです。「感謝」をテーマとするこの季節、そのような眼差しで過去を思い出す時間をもってみてはどうでしょう。想起から湧き出る感謝は、きっと今を生きるための力の源泉となるでしょうから。

(社会学部宗教主事)

●2013年度大学主催秋季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights 一人権文化を育む（2010年度～2014年度）

1. と き：11月19日(火) 11:10～12:40

ところ：神戸三田キャンパス II号館101号

2. と き：11月19日(火) 16:50～18:20

ところ：西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館レセプションホール

講 師：御興 久美子（おごしくみこ）氏

（奈良県立医科大学 女性研究者支援センター 特任教授特定非営利活動法人
アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク 代表理事）

題 目：「キャンパス・ハラスメントの防止に向けて」

※手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

●2013年度人権教育研究室研究部会主催・第3回公開研究会

映画監督の土屋トカチ氏、NOP 法人 POSSE 京都支部の岩橋誠氏、フリージャーナリストの常見陽平氏を招いて、「ブラック企業にご用心！」（土屋トカチ監督）を上映した後、トークセッションとフロアーとの質疑応答の場を設ける。「ブラック企業」の脅威にどのように立ち向かうべきか、みんなで考えよう！

と き：11月29日(金) 15:10～18:20（途中15分間休憩）

ところ：関西学院大学図書館ホール

テーマ：「ブラック企業」って、なんだ？ 一働きわたしたちの「人権」を守ろう！

映画上映：「ブラック企業にご用心！」（土屋トカチ監督）

トークセッション：

トーカー 土屋トカチ（映画監督）

岩橋 誠（NPO 法人 POSSE 京都支部）

常見 陽平（フリージャーナリスト）

ナビゲータ 阿部 潔（人権教育研究室）

なお、11月25日(月)～29日(金)の期間、図書館エントランスホールにて関連展示を実施。

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー 14 階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

11月22日、29日(金) 18:00～18:20 1405 教室

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行なわれます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

11月24日(日) 10:00～11:00 関西学院会館ベーツチャペル

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスイベントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費は宗教活動委員会を通して関係団体に献金させていただきます。

開催日時：12月20日(金) 17:30 開場 18:30 開始

参加費：2000 円

チケット販売：関西学院大学生協／チケットぴあ／ABCチケットセンター
／サークルK サンクス／ファミリーマート

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）切手部の活動に協力し、使用済み切手を収集しています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。